

2022年2月期 通期決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2022年4月18日

連結業績の概要

2021年3月1日～2022年2月28日

通期の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2022年2月期		2021年2月期		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		3,622	100.0	3,100	100.0	522	16.8
売上原価		1,141	31.5	1,156	37.3	△15	△1.3
	印刷費	267	7.4	277	8.9	△9	△3.4
	労務費	125	3.5	172	5.6	△47	△27.3
	その他売上原価	747	20.6	706	22.8	41	5.8
売上総利益		2,481	68.5	1,943	62.7	537	27.7
販管費		2,481	68.5	2,488	80.3	△7	△0.3
	人件費	1,488	41.1	1,465	47.3	23	1.6
	広告・販促費	424	11.7	398	12.9	25	6.5
	流通費	81	2.2	98	3.2	△17	△17.4
	その他販管費	486	13.4	527	17.0	△40	△7.7
営業利益		0	0.0	△545	△17.6	545	—
経常利益		12	0.3	△518	△16.7	530	—
税金等調整前		12	0.3	△562	△18.2	575	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		39	1.1	△500	△16.1	540	—
EPS		¥1.51		△¥18.96			

セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)

4000

主力事業の『DOMO』・『DOMO NET』・『JOB』・『ワガシャ de DOMO』等

3500

連結子会社リンクが
運営する
フリーペーパー
取次事業等

3000

2500

2021年2月期

情報提供事業

販促支援事業

2022年2月期

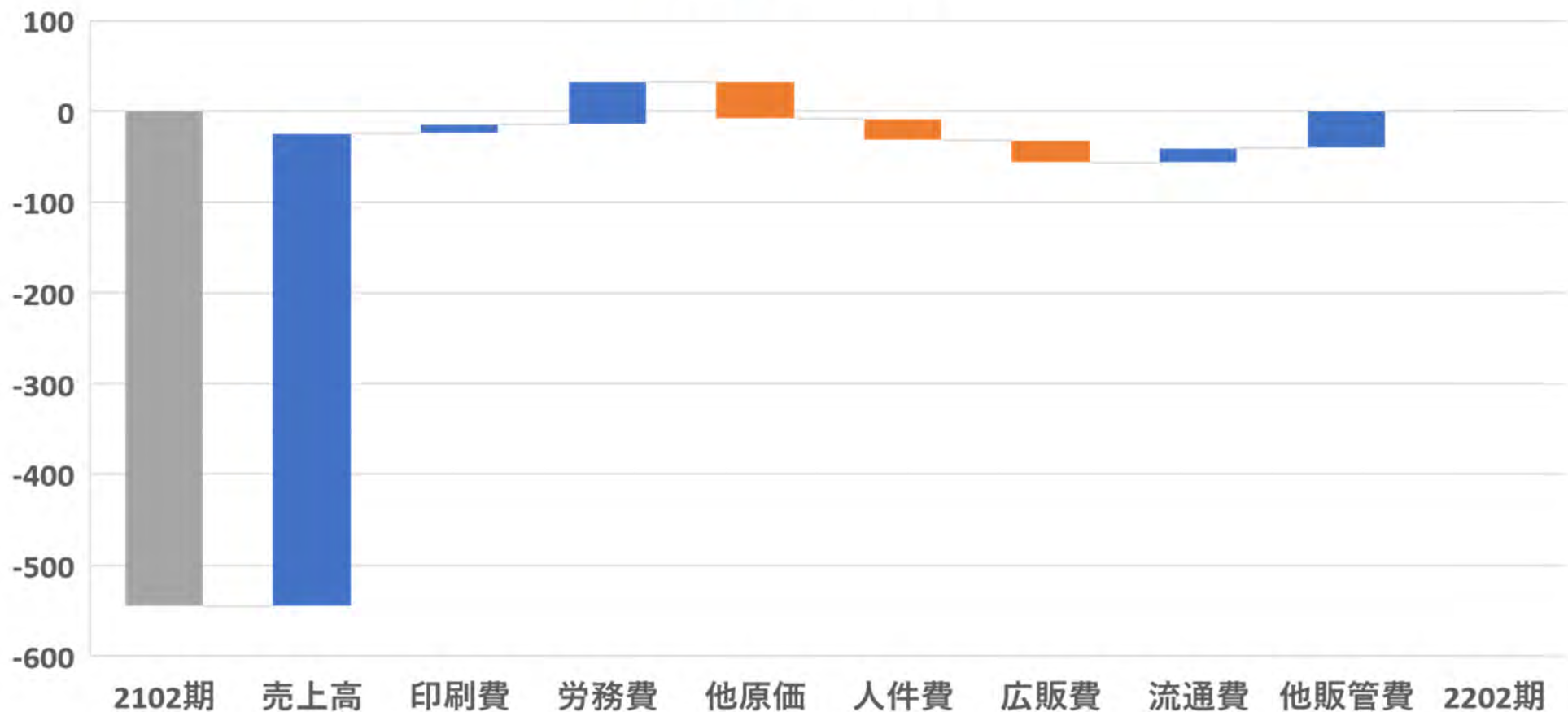
営業利益の増減要因

営業利益545百万円の改善・黒字転換

営業利益増減要因

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

(単位:百万円)



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2022年2月末		2021年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	3,877	77.5	3,991	81.6	△114	△2.9
	固定資産	1,125	22.5	898	18.4	227	25.3
	資産合計	5,003	100.0	4,890	100.0	113	2.3
	流動負債	626	12.5	553	11.3	73	13.2
	固定負債	11	0.2	15	0.3	△3	△24.6
	負債合計	638	12.8	569	11.6	69	12.2
	資本金	455	9.1	455	9.3	—	—
	資本剰余金	526	10.5	540	11.0	△13	△2.5
	利益剰余金	4,439	88.7	4,399	90.0	39	0.9
	自己株式	△1,062	△21.2	△1,076	△22.0	13	—
	株主資本	4,360	87.1	4,320	88.3	39	0.9
	その他包括利益累計額	4	0.1	0	0.0	3	677.8
	純資産	4,364	87.2	4,320	88.4	43	1.0
	負債・純資産合計	5,003	100.0	4,890	100.0	113	2.3
	BPS	¥165.36		¥163.70			

当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2022年2月期	2021年2月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	123	△437	561
投資活動CF	△209	△51	△158
財務活動CF	△4	△187	182
換算差額	△0	0	△0
増減額	△91	△676	584
期首残高	3,488	4,164	
期末残高	3,396	3,488	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前当期純利益が12百万円、減価償却費が34百万円、未払消費税の増加額が77百万円となった一方で、売上債権の増加額が52百万円、未払債務の減少額が27百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が223百万円等となったためです。

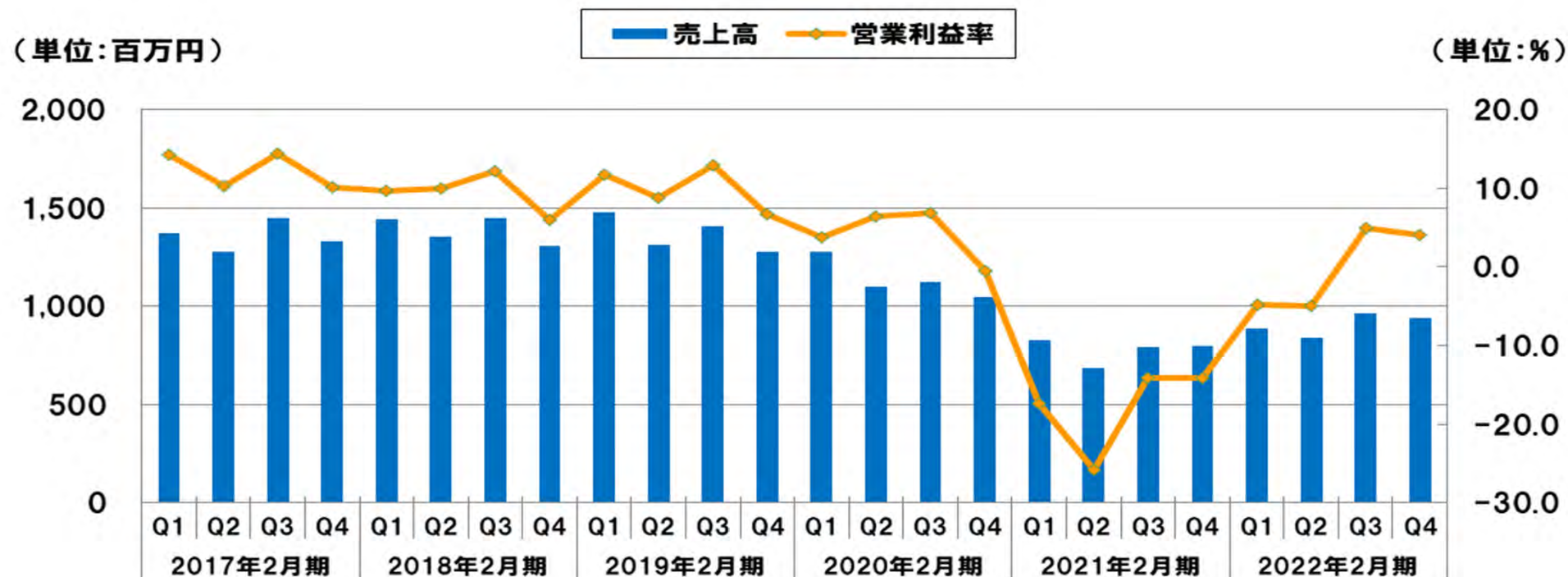
➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出が3百万円等となったためです。

当期の総括

2021年3月1日～2022年2月28日

経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。前期はコロナ感染症拡大による影響により採用環境が悪化。コスト圧縮を図るも売上の減少幅が大きく営業赤字を計上。
- ◆ 当社は、新型コロナウイルス感染症拡大により雇用環境が悪化する中、大きな影響を受けていない『ワガシャ de DOMO』の拡販に注力することや費用対効果を踏まえたコストコントロールを同時に行っていました。また、非接触型のインサイドセールスへの転換や多様化する人材サービスを踏まえたビジネスモデルの変革等、新型コロナウイルス感染症拡大終息後の雇用環境の回復時に向け、当社の再成長に向けた準備を着実に推進した結果、2022年2月期は黒字転換いたしました。

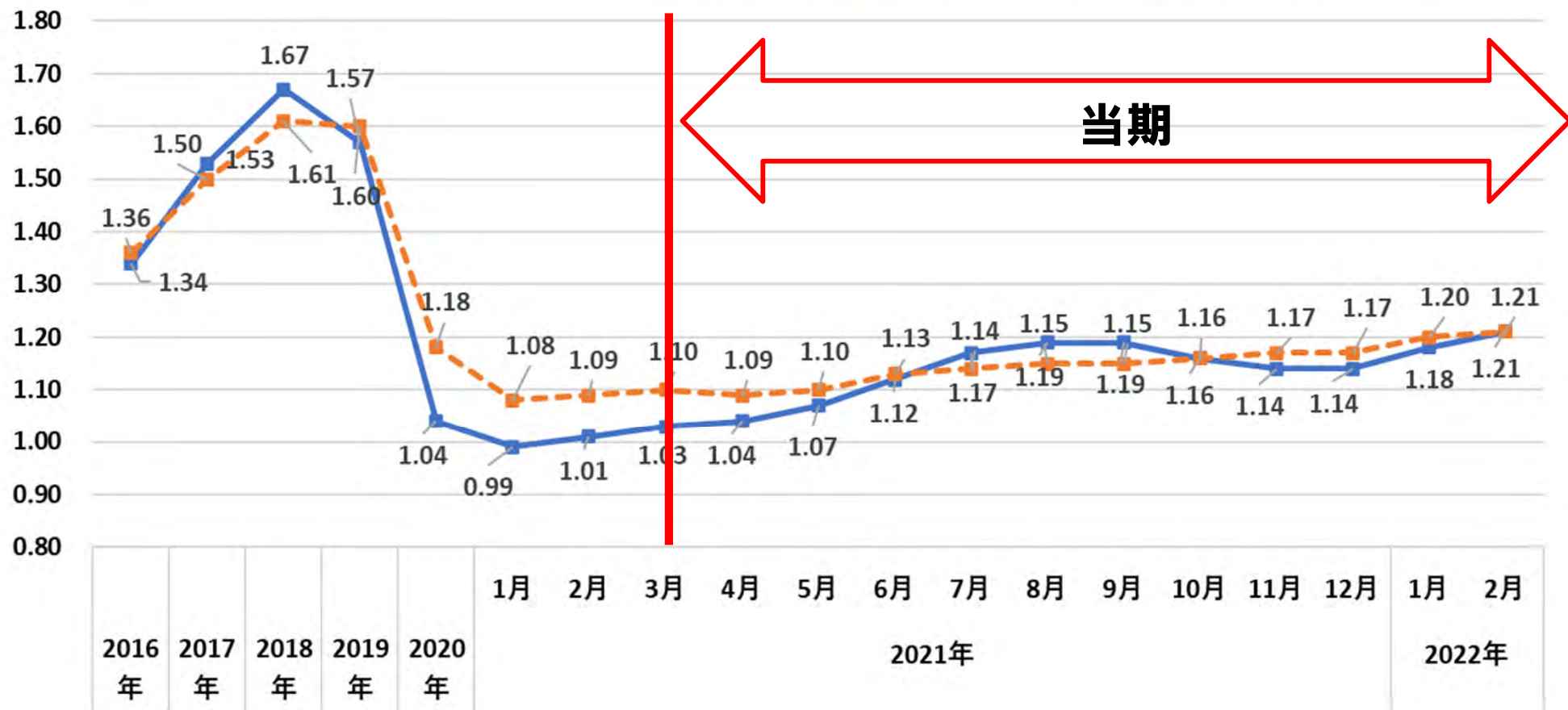
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により雇用環境は停滞

有効求人倍率推移

(単位:倍)

■ 静岡県 - - 全国

出所: 静岡労働局 雇用労働統計より当社作成



重点施策

「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販による売上増
(売上高12億円、前期比51.9%増)

ワガシャ  de DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)

➤ 機能追加・オプションサービスの開発により顧客満足度の向上を図る

応募管理の一元化を図る『ワガシャ de 応募管理』の導入

『DOMONET単発バイト特集』への参画可能

『応募単価シミュレーター』の実装

『採用ブランディングトップページ』の導入

重点施策

黒字確保のための徹底的なコストの見直し

- 紙媒体コストである印刷費(予想比6.2%減、前期比3.4%減)・流通費(予想比5.8%減、前期比17.4%減)圧縮
- 商品力・販売力維持のため、人件費(予想比8.5%減、前期比1.6%増)・広告販促費(予想比14.4%減、前期比6.5%増)は前期比増。

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2022年 2月期	業績予想	予想比		2021年 2月期	前年同期比	
	金額	金額	乖離額	乖離率	金額	増減額	増減率
売上高	3,622	3,886	△263	△6.8	3,100	522	16.8
売上原価	1,141	1,170	△28	△2.5	1,156	△15	△1.3
印刷費	267	285	△17	△6.2	277	△9	△3.4
労務費	125	128	△2	△1.9	172	△47	△27.3
その他売上原価	747	756	△8	△1.2	706	41	5.8
販管費	2,481	2,685	△204	△7.6	2,488	△7	△0.3
人件費	1,488	1,627	△138	△8.5	1,465	23	1.6
広告・販促費	424	495	△71	△14.4	398	25	6.5
流通費	81	86	△4	△5.8	98	△17	△17.4
その他販管費	486	477	9	2.0	527	△40	△7.7
総コスト	3,622	3,856	△233	△6.1	3,645	△23	△0.6

次期の方針、連結業績予想

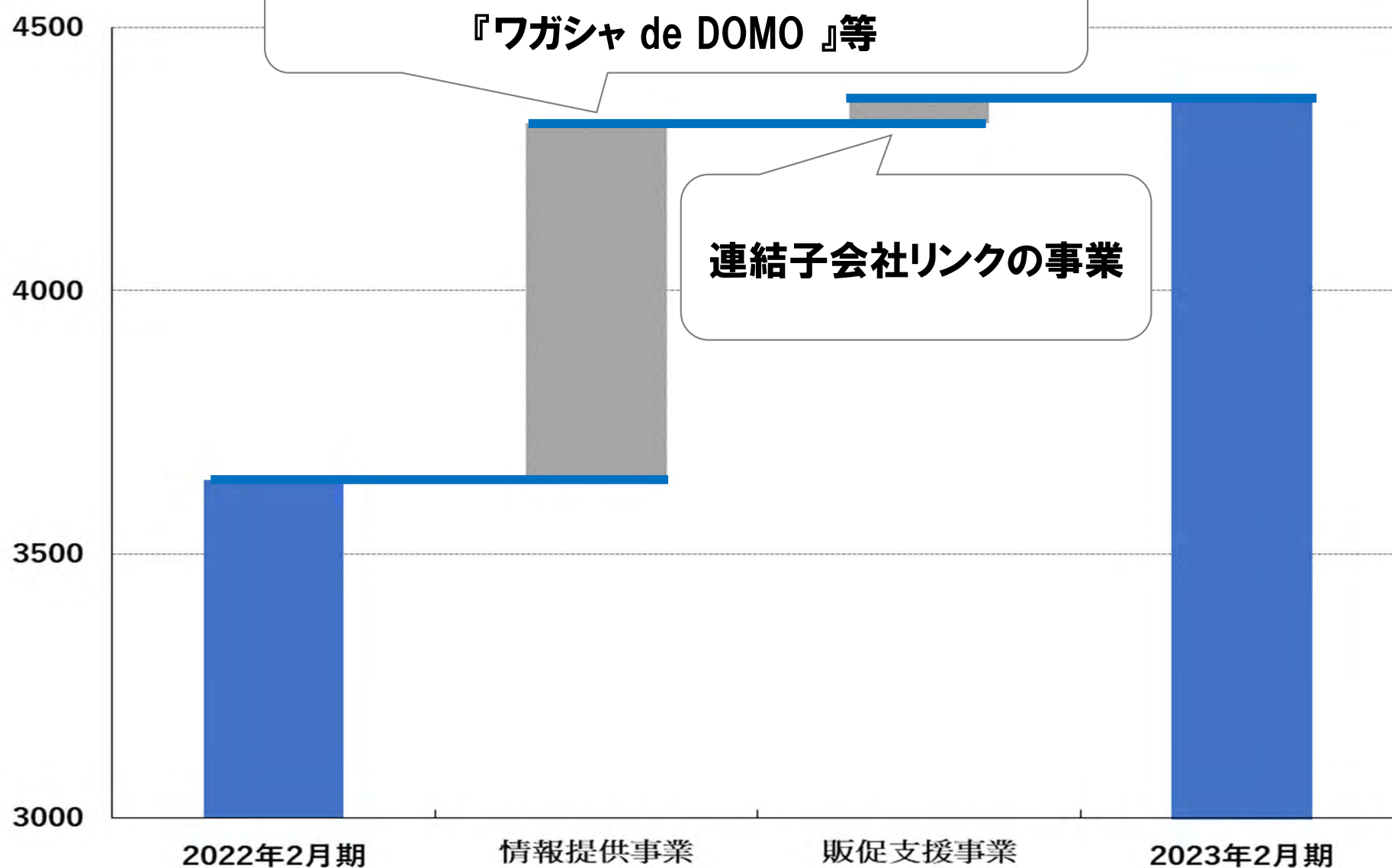
2022年3月1日～2023年2月28日

業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2023年2月期		2022年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,343	100.0	3,622	100.0	720	19.9
売上原価	1,211	27.9	1,141	31.5	70	6.2
印刷費	317	7.3	267	7.4	50	18.7
労務費	94	2.2	125	3.5	△30	△24.6
その他売上原価	799	18.4	747	20.6	51	6.9
売上総利益	3,131	72.1	2,481	68.5	649	26.2
販管費	3,061	70.5	2,481	68.5	580	23.4
人件費	1,737	40.0	1,488	41.1	248	16.7
広告・販促費	654	15.1	424	11.7	229	54.2
流通費	80	1.9	81	2.2	△0	△0.2
その他販管費	588	13.5	486	13.4	101	20.9
営業利益	70	1.6	0	0.0	69	—
経常利益	70	1.6	12	0.3	57	462.7
税金等調整前	70	1.6	12	0.3	57	462.7
親会社株主に帰属する当期純利益	63	1.5	39	1.1	23	59.4
EPS	¥2.48		¥1.51			

セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



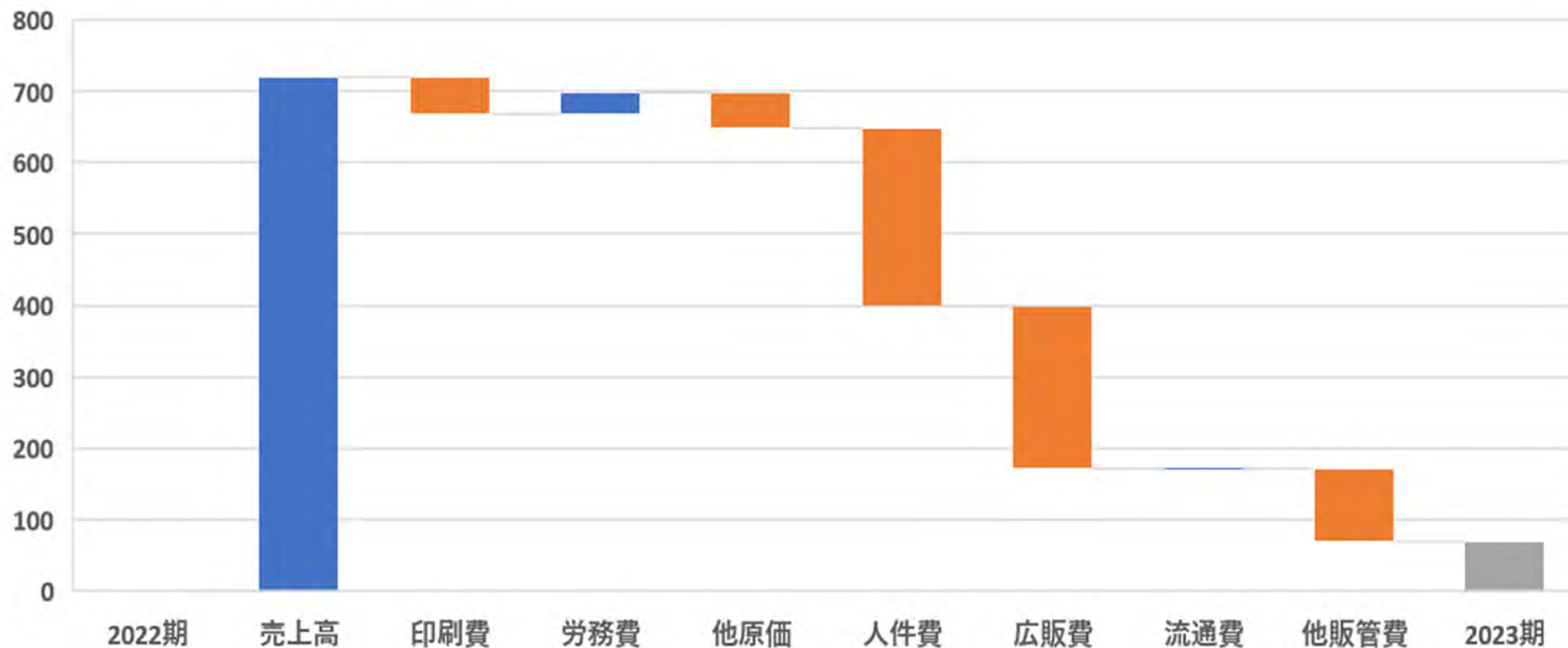
売上から営業利益までの内訳

更なる売上増に向けて要員、広告販促費拡大も黒字継続

営業利益増減要因

(単位:百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



重点施策

成長に向けた投資の実施

- 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施

【コスト投資】

	2023年2月期	2022年2月期	前年同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	コスト投資(百万円)
人件費	1,737	1,488	248
広告販促費	654	424	229
減価償却費	74	34	39
計	2,466	1,947	518

【固定資産投資】

投資案件	金額 (百万円)
新販売管理 導入関連投資	359
WEB・CS関連投資	24
その他投資	3
投資計	387

【新規事業投資】

投資案件	金額 (百万円)
人材教育関連	113
生活支援関連	63
人材マッチング関連	50
投資計	226

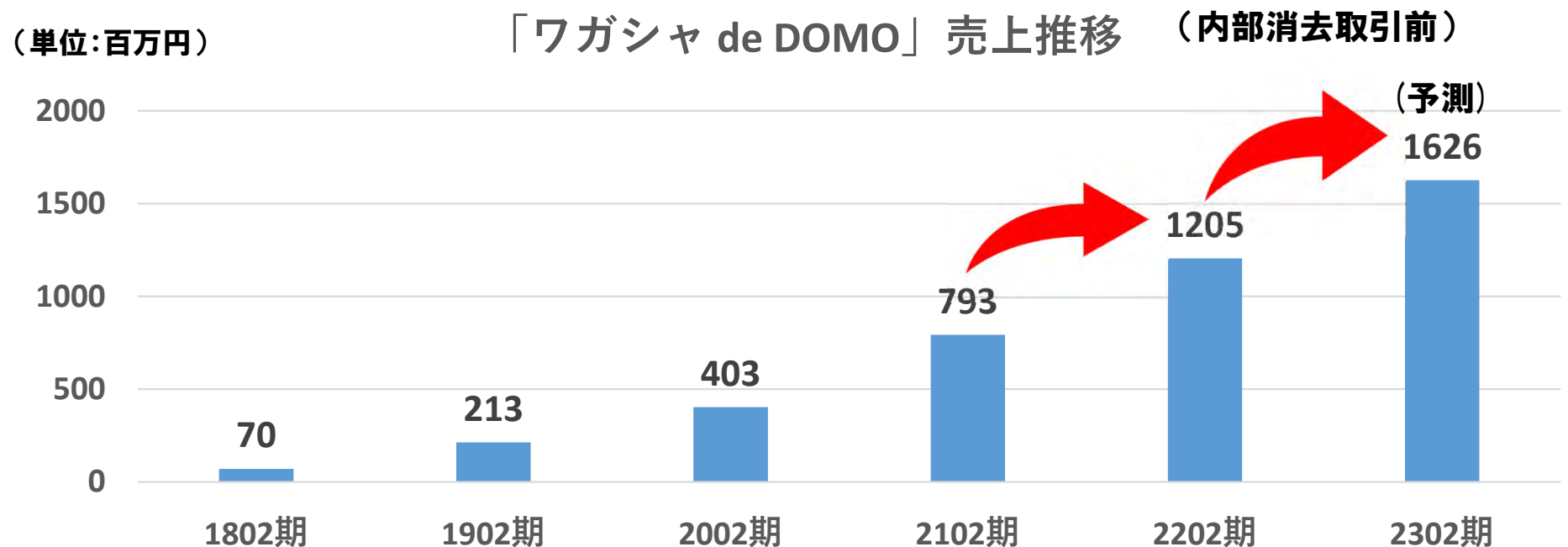
重点施策

「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販施策の継続

- 利便性の追求によるオプションサービスの開発・販売による差別化を図る
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大施策の継続

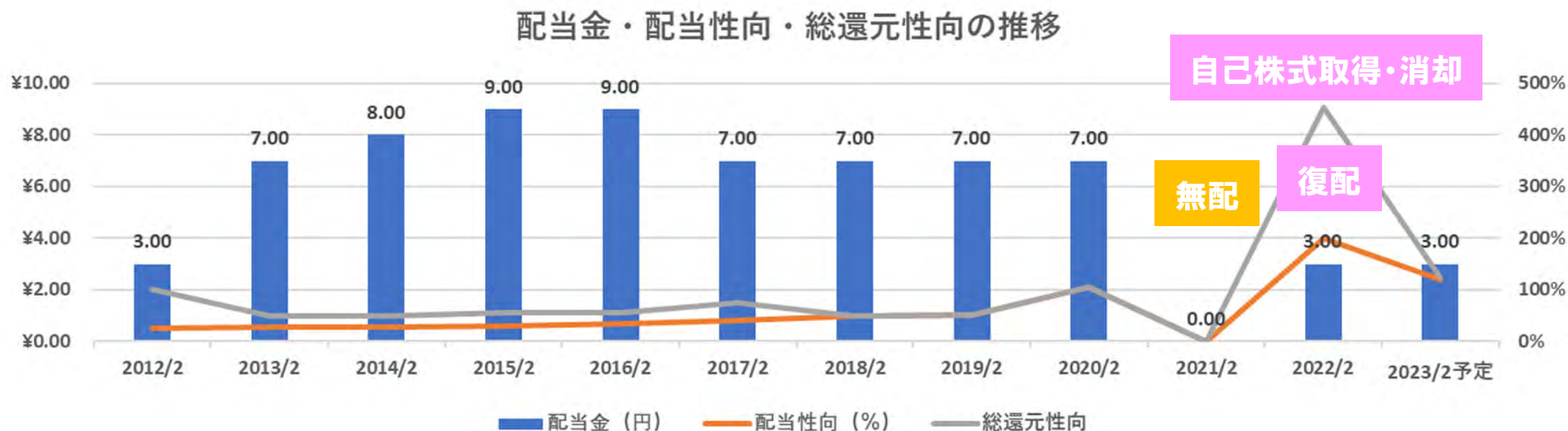
ワガシャ  de DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)



株主還元

当期及び次期は1株当たり3円の復配とさせていただきます。
株主還元として2022年4月～6月に自己株式取得、7月に消却を行います。



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

2021年2月期においては、大幅な赤字転落したことを踏まえ、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。2022年2月期は黒字転換を達成することことができ、今後の事業展開や当社の財務状況等を総合的に勘案した結果、復配の目処がついたものと判断されることから、2022年2月期につきましては、1株当たり3円の期末配当を予定しており、次期につきましても当期同額の1株当たり3円の期末配当を実施する方針といたしました。

自己株式の取得及び消却について

➤ 自己株式の取得及び消却を行う理由

- ◆ 将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行を可能とするため、また、株主の皆様への利益還元を図るため

➤ 取得の内容

- ◆ 取得する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 取得する株式の総数 700,000株(上限)
・ (発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合 2.65%)
- ◆ 株式の取得価額の総額 100百万円(上限)
- ◆ 取得する期間 2022年4月15日～2022年6月30日
- ◆ 取得方法 東京証券取引所における市場買付

➤ 消却の内容

- ◆ 消却する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 消却する株式の総数 700,000株
- ◆ 消却予定日 2022年7月15日

➤ 参考(2022年3月31日時点の自己株式の保有)

- ◆ 発行済株式総数(自己株式を除く) 26,393,190株
- ◆ 自己株式数 5,844,059株

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

連絡先

株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部 経営企画部

E-MAIL: ir@atimes.co.jp

HP: <https://www.atimes.co.jp>